

News Release

2020年2月6日

パイオニア株式会社
パイオニアスマートセンシングイノベーションズ株式会社

報道資料

マレーシアにおける 5G 環境下の自動運転実証実験に参加 ～アセアン地域での自動運転サービス商用化に向けて、実験エリアを拡大～

パイオニア株式会社の連結子会社であるパイオニアスマートセンシングイノベーションズ株式会社(以下、「PSSI」)は、シンガポールの自動運転関連スタートアップ企業 MooVita Pte Ltd(以下「MooVita」)のマレーシア現地法人である eMoovit とともに、1月よりマレーシアで行われている次世代通信規格「5G」回線を用いた自動運転実証実験に参加しています。

本実証実験は、マレーシア通信マルチメディア委員会(MCMC)が国内6州で開催する「5G デモンストレーションプロジェクト」の一環として行われるもので、マレーシアのテレカンパニー Altel Communications の協力のもと、「5G」回線を用いた自動運転に関連する検証を行います。限定エリア(クダ州ランカウイ島のペランギビーチリゾート&スパ周辺)内で、5G回線経由でデータの送受信を行う4人乗りの自動運転シャトルバスを運行し、エリア内の利用者の試乗も行います。

当社は、2018年より、シンガポールの MooVita と、自動運転レベル4のサービス商用化を視野に、当社の「3D-LiDAR センサー」を用いた実証実験を行っています。3D-LiDAR センサーは、レーザー光を照射することにより対象物までの正確な距離を測定し、周辺の状況をリアルタイムかつ立体的に把握できるため、自動運転レベル3(条件付き自動運転)以上の自動運転の実現に不可欠なキーデバイスとされています。



【PSSIの「3D-LiDAR センサー」が搭載された自動運転シャトルバス】

PSSIは今後も、独自のセンシング技術を用いた自動運転関連のサービスやソリューションをグローバルに展開するため、アセアン地域を皮切りにさまざまなプロジェクトに参画し、自動運転の早期実用化およびサービス商用化に貢献してまいります。

<パイオニアスマートセンシングイノベーションズ株式会社について>

パイオニアの自動運転関連事業を承継する新会社として、2019年10月1日に設立。同社は、高性能で小型かつ低コストな MEMS ミラースキャン方式の 3D-LiDAR センサーの開発を進め、2020年には本格的な量産を行います。同時に、3D-LiDAR センサーを活用した高精度な「物体認識アルゴリズム」および「自車位置推定アルゴリズム」「周辺環境情報の差分抽出アルゴリズム」の開発も行っています。

URL:<http://autonomousdriving.pioneer/ja/>



<MooVita について>

MooVita は、2016年に創業した自動運転ソリューションの提供を専門とするハイテクスタートアップ企業で、シンガポールに本社、マレーシアとインドにオフィスを設けています。シンガポールの公共道路で自動運転車両を初めて走らせた団体の1つでもある同社は、都市向け完全自動運転のソフトウェアソリューションを開発しています。

URL:<http://www.moovita.com>

<Altel Communications について>

AlBukhary Group of Companies の傘下企業として2012年に設立された Altel Communications は、仮想移動体サービス事業者(MVNO)モデルを採用し、無線技術を使用したモバイルおよびネットワークソリューションを提供しています。

URL:<https://www.altel.my/>